

# 説明資料

## (議 事)

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大のもとでの運営について  

	<b>資料 1</b> コロナ禍での運営 -新たな日常への模索-	. . . . . 別紙
--	----------------------------------	--------------
  
- 2 令和元年度事業の評価について  

	<b>資料 2</b> 大分県立図書館運営の状況に関する評価	. . . . . 1
--	--------------------------------	-------------
  
- 3 令和3年度事業計画等について  

	<b>資料 3</b> 令和3年度 基本方針及び重点目標	. . . . . 2
	<b>資料 4</b> 令和3年度 事業計画	. . . . . 4
  
- 4 ご寄附による資料、設備の充実について  

	<b>資料 5</b> 津久見市出身 医師（故）三浦 通（みうら とおる）様からのご寄附について	. . 別紙
--	--	--------

## 大分県立図書館運営の状況に関する評価

評価者： 集計

### ㊦ 図書館法

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

### ㊦ 評価の方法

各年度に定めた重点目標ごとに評価指標を設定し、年度終了後、それぞれの指標ごとの実績値について自己評価を行い、それに対して、図書館協議会委員が外部評価として意見を記載する。自己評価及び外部評価としての委員意見をあわせてHPIにより公開する。  
なお、自己評価はAからDの4段階とする。

- A: 非常に成果があがっている。
- B: 成果があがっている。
- C: それほど成果があがっていない。
- D: 全く成果があがっていない。

### ㊦ 評価

#### (1) 県民の読書活動の推進

評価指標

・ 入館者数	
H30 実績	496,416
R元 実績	451,439

自己評価	理由
B	入館者数はH25、個人貸出冊数(H21をピークに)減少傾向。幼児、保護者、児童、生徒向け行事の増、魅力向上により若年利用者の増加を目指した取り組みを進めている。H30は、国民文化祭等により数年ぶりの増加となったが、2019は、コロナ禍の影響もあり減少となった。

#### 委員意見

B	6委員 (A～D表記がない(空欄含む)のご意見のカウントしておりません。以下同様) コロナ禍で、利用者数をB評価にするのは、厳しいのではないかと 限りなくAに近いBだと考える。H30年度とは状況が違う中で、努力していることが窺える。
---	--

2019年、2020年とコロナ禍の影響を踏まえよううえで、当初の計画は、限られた中でどうしようもならなかったと思う。ある意味評価しがたく、A評価で良いのではと思える。ただ、家にいる時間が長くなった今、この項目の目標に向けて、改めて「読書の必要性」あるいは、「読書が生活、又は人生に与える影響」を再確認する取り組みの計画をしてほしい。例えば、読書家の著名人の話を聞く機会を作るなど……

読書バリアフリー法が2019年6月に施行された。同法第9条の視覚障害者等による図書館利用に係る体制の整備等、基本計画の施策の方向性の(2)円滑な利用の支援のための充実のうち、インターネットを活用した広報・情報提供体制の充実に伴い障害者サービスの充実を図る取り組みを促進するため、サビエ図書館への登録をお願います。

#### (2) 資料収集・保存・提供の推進

評価指標

・ 全資料数(デジタル化資料を含む)	
H30 実績	1,191,767
R元 実績	1,204,777

自己評価	理由
A	県立図書館としての蔵書構成を確保するため、統一的観点から専門的・学術的資料を収集した。また、朗読CDの収集を強化し、障がい者・高齢者サービスの充実を図った。

#### 委員意見

A	5委員
B	1委員

「県立図書館」だからこそできる作業であり、また、しなければならぬ取り組み力を入れていることは評価できる。

それぞれの取り組みにおいて大変尽力していると思う。自己評価Bにしている(3)(4)項目もA評価で差し支えないと思うが、継続的な取り組みであってほしいものとして、「達成目標」であり続けるという意味のB評価だととらえる。今後も、引き続きこのような良い取組をお願いします。

多くの大活字本や朗読CDを収集してもらえており、ありがたい。これら収集したものをホームページ上で簡単検索できるようにしてほしい。また、徳島市立図書館「はこららふ図書館」のような電子図書館サービスの導入を検討してほしい。

#### (3) 市町村立図書館、学校図書館等支援

評価指標

・ 協力貸出冊数	
H30 実績	25,524
R元 実績	24,334

自己評価	理由
B	所管する全小中学校が、貸出ネットワークに登録した市町村が、14まで拡大したが、コロナ禍による休館、休校により利用冊数は減少した。

#### 委員意見

A	1委員
B	5委員

不登校児童・生徒への支援について  
平日、不登校児童・生徒が利用する場合は温かい見守りをしてもらえるとありがたい。  
コロナ禍で、利用状況はやむをえない。

利用者数という数字にこだわることより、ネットワークの広がりがやがり前進していることを評価したい。

コロナ禍のなかで、読書する時間的余裕が増えたのではないかと。電子図書サービスのようになりモート対応のサービスが充実すると、もっと図書館の価値が高まる。

#### (4) 県民の調査研究・課題解決支援

評価指標

・ レファレンス件数(簡易なものを除く)	
H30 実績	11,788
R元 実績	9,847

自己評価	理由
B	タータベースや専門的な資料等に基づいたレファレンスサービスへの需要が増加している。

#### 委員意見

B	6委員
---	-----

コロナ禍のなか、活動すること自体なかなか難しかったと思う。  
国立国会図書館の共同データベースなどの活用も考慮して需要に対応すべきかと

コロナ等で入館者数が減っている状況なので、件数も減っていると考えられるが、県民の小さな質問にもその都度丁寧に対応してくれている。これからも、子どもたちや高齢者へのサポートをよろしく願いたい。

調査相談の支援にもっと力を入れるとよいと考える。働き方が多様化する昨今、テーマを決めて図書館に答えを求めて訪れる市民も多い。直接そのテーマと関係なくとも、それに近いテーマの本や雑誌を紹介したりすると親切だと思う。

今後は、このようなコロナ禍のなかで、職員が感染症予防対策などに多くの時間を費やし、レファレンス件数が減少しても致し方ないと思われる。

#### (5)

#### ・ 市町村社会教育行政等との連携

評価指標

地域人材等育成研修参加者数	
H30 実績	1,935
R元 実績	1,692

自己評価	理由
B	2019で主要事業の「地域教育カバワーアップ事業」が終了し、参加者総数は減少したが、「社会教育主事派遣を新たに開始し、「市町村の人材育成」に対する、より細やかな支援を行い成果を上げた。

#### 委員意見

B	6委員
---	-----

市町村の意見(評価)は上々。  
パワーアップ事業での市町村団体への支援、社会教育主事の派遣は、Aに近いと思う。事業終了後も今後の活動につながることを期待している。  
地域教育カバワーアップ事業の今後の良い影響が広がることを期待している。

## 1 基本方針

大分県立図書館は、社会教育法、図書館法並びに本県教育の基本施策に基づき、県民の生涯にわたる多様で自発的、継続的な学習要求にこたえるキー・ステーションとして、大分県公文書館、大分県立先哲史料館と一体となって、「だれでも、いつでも、どこからでも」利用できる社会教育施設としての機能を果たすとともに、県民の教養・文化の向上に寄与するため、広報の充実に努めながら、活力ある全県的な図書館活動を推進する。

また、人の成長段階に応じて必要な役割をしっかりと果たしていくとともに、市町村社会教育行政等との緊密な連携のもと、地域社会の課題解決に役立つサービスの提供に努める。

## 2 重点目標

### (1) 県民の読書活動の推進

- ・ あらゆる環境にある子どもの読書活動支援
- ・ 障がい者、高齢者等多様な利用者の読書活動の推進
- ・ 地域の読書活動を支える人材の育成
- ・ 電子申請等による県民の図書館利用の促進(非来館型サービスの充実)

### (2) 資料収集・保存・提供の推進

- ・ 蔵書構成等を考慮した幅広い資料の体系的・継続的な収集・保存
- ・ 専門的・学術的資料等の収集・保存と郷土資料のデジタル化の推進

### (3) 市町村立図書館、学校図書館等支援

- ・ 職員研修や図書館相互貸借等による市町村立図書館への支援の充実
- ・ 学校図書館への支援と連携(協力貸出(OLIB)の活用促進、図書館大会等)
- ・ 学校と県立図書館の連携強化(調べ学習支援、見学受入れ等)
- ・ 不登校児童・生徒への支援

### (4) 県民の調査研究・課題解決支援

- ・ 職員の資質向上とレファレンスサービスの充実
- ・ 行政や民間団体等との効果的な連携(相談会、セミナー、連携講座、情報提供)
- ・ 公開講座の充実
- ・ 専門書を中心とした電子書籍サービスの充実

### (5) 市町村社会教育行政等への支援

- ・ 地域人材と社会教育指導者等の育成に向けた研修、講座の充実
- ・ 市町村及び関係機関、団体等への指導・助言及び支援
- ・ 生涯学習情報の収集・調査・提供

<基本方針>

<重点目標>

令和2年度 <具体的取組> 計画

令和3年度 <具体的取組> 計画

「だれでも、いつでも、どこからでも」利用できる社会教育施設

活力ある全県的な図書館活動の推進

地域社会の課題解決に役立つサービスの提供

(1) 県民の読書活動の推進

- ①あらゆる環境にある子どもの読書活動支援
- ②障がい者、高齢者等多様な利用者の読書活動の支援
- ③地域の読書活動を支える人材の育成

- ・子ども読書活動支援（子ども読書支援センター運営、子ども読書推進員の派遣等）
- ・おはなし会（子ども室おはなしのへや：毎週土曜11：00～12：00）
- ・読み聞かせひろば（子ども室マットコーナー：毎週日曜10：30～11：30）
- ・「みんなの読書」拡大推進事業（電子書籍の試験導入、読書機会提供の研究）

- ・矯正施設等の子どもへの読書活動支援（県内矯正施設等への貸出等支援）
- ・県立病院入院児童生徒読書支援（県立病院小児科病棟ほかへの定期貸出）
- ・読書週間行事（春4/23～5/12：こどもの読書週間、秋10/27～11/9：読書週間）
- ・映画上映会（アニメ映画上映会、秋の映画上映会、ライブラリーシアター）

(2) 資料収集・保存・提供の推進

- ①バランスのとれた蔵書構成に考慮した幅広い資料の体系的・継続的な収集
- ②専門的・学術的資料等の収集・保存と郷土資料のデジタル化の推進

- ・（再掲）「みんなの読書」拡大推進事業
- ・県立図書館資料整備事業（一般、郷土、子ども室資料等の収集、閲覧、貸出）
- ・相互貸借（県内外図書館の図書館資料の取寄せ、課題解決支援）
- ・ふるさと大分の文学者展示コーナーの運営
- ・郷土資料のデジタル化

(3) 市町村立図書館、学校図書館等支援

- ①職員研修や図書館相互貸借等による市町村立図書館への支援の充実
- ②学校図書館への支援
- ③不登校児童・生徒への支援

- ・大分県公共図書館等連絡協議会（各館等との連携、研修、情報交換）
- ・第7回大分県図書館大会（公共・学校図書館の連携等、講演、実践交流会等）
- ・公立図書館等職員研修会（サービス向上を目的とした研修、年6回）
- ・公立図書館等館長研修（年1回）
- ・協力貸出 大分県図書館情報ネットワーク（OLIB）を活用
- ・団体貸出文庫（市町村立図書館等、読書団体、学校）
- ・大分県図書館横断検索システム（総合目録）（市町村立図書館等18館参加）
- ・司書等派遣・巡回相談業務（市町村立図書館等からの申請により実施）
- ・不登校対策「ポランの広場」図書館活動（市町村活動支援を含む）
- ・職場体験学習、インターンシップ、図書館見学の受入
- ・スクールサービスデー（県内小・中・高校の児童・生徒、年間最大9回）

(4) 県民の調査研究・課題解決支援

- ①職員の資質向上とレファレンスサービスの充実
- ②行政や民間団体等との効果的な連携（相談会、セミナー、連携講座、情報提供）
- ③公開講座の充実

- ・県民の課題解決を支援（主催公開講座）（古典の日、調べ学習ほか）
- ・県民の課題解決を支援（相談会、講座等）
- ・行政・民間団体との連携事業（一日まちの保健室、経営無料相談会ほか）
- ・中小企業支援コーナーの充実（県産業科学技術センターとの連携充実：推薦図書、研究成果展示等）
- ・課題解決コーナーの設置（子育て情報、健康づくり情報、仕事と暮らしの情報）
- ・データベースの提供（各種新聞記事、国立国会デジタル資料等の提供）
- ・調査相談（専門職員による来館、電話、FAX、郵便、メール等による支援）

(5) 市町村社会教育行政等への支援

- ①地域人材と社会教育指導者等との育成に向けた研修、講座等の実施
- ②市町村及び関係機関、団体等への指導・助言及び支援
- ③生涯学習情報の収集・調査・提供

- ・社会教育推進力向上支援事業（社会教育行政職員研修会ほか67マ、全9回）  
（大分県社会教育応援隊：市町村への社教主事派遣）、（市町村社会教育巡回訪問、相談）
- ・学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業（地域学校協働活動推進研修：3地区各2回、  
（企業・高校等外部人材を活用した小学生向け体験講座：県2回、3市町で各1回）
- ・大分県生涯学習情報提供システム整備事業（インターネット学習情報提供システム）
- ・外国人とのコミュニケーション拡大事業  
（行方地区：中津、別府、講演会2、資料作成、講座2、実践交流会等2）
- ・生涯学習・社会教育に関する調査・研究（市町村と連携した施策の調査研究）

- ①あらゆる環境にある子どもの読書活動支援
- ②障がい者、高齢者等多様な利用者の読書活動の支援
- ③地域の読書活動を支える人材の育成

④電子申請等による県民の図書館利用の促進（非来館型サービスの充実）

- ・子ども読書活動支援（子ども読書支援センター運営、子ども読書推進員の派遣等）
- ・おはなし会の開催（乳児、幼児、児童、成人、季節：会場子ども室おはなしのへや等）
- ・読み聞かせひろば（子ども室マットコーナー：毎週日曜10：30～11：30）

- ・専門書を中心とした電子書籍サービスの提供
- ・矯正施設等の子どもへの読書活動支援（県内矯正施設等への貸出等支援）
- ・県立病院入院児童生徒読書支援（県立病院小児科病棟ほかへの定期貸出）
- ・読書週間行事（春4/23～5/12：こどもの読書週間、秋10/27～11/9：読書週間）
- ・映画上映会（アニメ映画上映会、秋の映画上映会、ライブラリーシアター）
- ・電子申請等による県民の図書館利用の促進（非来館型サービスの充実）
- ・電子申請の導入に向けた検討
- ・宅配サービス（障がい者・大活字本・子育て情報）

④蔵書構成等を考慮した幅広い資料の体系的・継続的な収集・保存

- ②専門的・学術的資料等の収集・保存と郷土資料のデジタル化の推進

- ・一般、郷土、子ども室資料等の収集、閲覧、貸出（県立図書館資料整備事業）
- ・相互貸借（県内外図書館の図書館資料の取寄せ、課題解決支援）
- ・ふるさと大分の文学者展示コーナーの運営
- ・郷土資料のデジタル化（大分新聞（S33.7～S36.12）のデジタル化とデータベースでの提供）

①職員研修や図書館相互貸借等による市町村立図書館への支援の充実

②学校図書館への支援と連携（協力貸出（OLIB）の活用促進、図書館大会等）

③学校と県立図書館の連携強化（調べ学習支援、見学受入等）

④不登校児童・生徒への支援

- ・大分県公共図書館等連絡協議会（各館等との連携、研修、情報交換）
- ・第8回大分県図書館大会（公共・学校図書館の連携等、講演、実践交流会等）
- ・公立図書館等職員研修会（サービス向上を目的とした研修、年6回）
- ・公立図書館等館長研修（年1回）
- ・協力貸出 大分県図書館情報ネットワーク（OLIB）を活用
- ・団体貸出文庫（市町村立図書館等、読書団体、学校）
- ・大分県図書館横断検索システム（総合目録）（市町村立図書館等18館参加）
- ・司書等派遣・巡回相談業務（市町村立図書館等からの申請により実施）
- ・不登校児童・生徒への支援
- ・職場体験学習、インターンシップ、図書館見学の受入
- ・スクールサービスデー（県内小・中・高校の児童・生徒、年間最大8回）
- ・施設連携による小中学校支援プログラム

①職員の資質向上とレファレンスサービスの充実

②行政や民間団体等との効果的な連携（相談会、セミナー、連携講座、情報提供）

③公開講座の充実

④専門書を中心とした電子書籍サービスの充実

- ・県民の課題解決を支援（主催公開講座）（古典の日、調べ学習ほか）
- ・（再掲）専門書を中心とした電子書籍サービスの提供
- ・県民の課題解決を支援（ビジネス支援セミナー、法律セミナー、放送大学との連携講座 等）
- ・行政・民間団体との連携事業（一日まちの保健室、経営無料相談会、パネル展示ほか）
- ・パスファインダー（調べ方ガイド）の作成と提供
- ・中小企業支援コーナーの充実（県産業科学技術センターとの連携充実：推薦図書、研究成果展示等）
- ・課題解決コーナーの設置（子育て情報、健康づくり情報、仕事と暮らしの情報）
- ・データベースの提供（各種新聞記事、国立国会デジタル資料等の提供）
- ・調査相談（専門職員による来館、電話、FAX、郵便、メール等による支援）

①地域人材と社会教育指導者等との育成に向けた研修、講座の充実

②市町村及び関係機関、団体等への指導・助言及び支援

③生涯学習情報の収集・調査・提供

- ・社会教育推進力向上支援事業（社会教育行政職員研修会ほか57マ、全6回の研修、社会教育主事派遣・巡回相談）
- ・大分県公民館連合会との連携（全3回の研修）
- ・学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業（地域学校協働活動推進員等を対象とした研修：3地区各2回）  
（企業・高校等の地域人材を活用した小学生向け体験プログラムの提示：全5回）
- ・大分県生涯学習情報提供システム整備事業（「まなびの広場おいた」によるインターネット講座等）
- ・外国人とのコミュニケーション拡大事業（「やさしい日本語」の普及と学習機会提供）
- ・生涯学習・社会教育に関する調査・研究

## 令和3年度事業計画

## (1) 県民の読書活動の推進

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
子ども読書活動支援	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> 子どもの読書活動に関心のある人、団体 読み聞かせボランティア団体 PTA 教職員 保育士 など	全県的な子ども読書活動推進のため、子どもの読書活動に関心のある人たちに、子ども読書に関する講師の派遣や情報発信を行い、家庭や学校等における読み聞かせ活動を支援する。 「子ども読書支援センター」の運営 ・子ども読書推進員(講師)の派遣 ・子ども読書関連情報の収集・整理・情報発信 ・家庭での読書活動に資する情報の提供 ・読み聞かせグループの調査
おはなし会	<b>【時期】</b> 土曜日 11:00～12:00 (第3土曜を除く) <b>【対象】</b> 幼児、小学生	<b>【おはなし会】</b> ・内容…読み聞かせやストーリーテリング、紙芝居等 (※ 以下、内容記載のない項目は同様)
	<b>【時期】</b> 第3土曜日 14:00～15:00 <b>【対象】</b> 小学生	<b>【小学生のためのおはなし会】</b> ・内容…ストーリーテリング
	<b>【時期】</b> 第3又は第4水曜日 (4・3月を除く) 10:30～11:00 <b>【対象】</b> 0歳児、1歳児と保護者	<b>【あかちゃんのためのおはなし会】</b> ・内容…わらべうたや手遊び、赤ちゃん絵本の読み聞かせ等 ※ プレパパ・プレママとして、これから親になる人の見学
	<b>【時期】</b> 第1水曜日 11:00～11:20 <b>【対象】</b> 1～4歳児	<b>【おはなし会2・3・4】</b> ・内容…読み聞かせやわらべうた
	<b>【時期】</b> 年3回 ◎ 11:00～12:00 ◎ 14:00～15:00 <b>【対象】</b> 幼児、小学生	<b>【季節のおはなし会】</b> ・そよかぜ ・クリスマス ・うめもも
	<b>【時期】</b> 夏休み <b>【対象】</b> 幼児、小学生	<b>【夏のゆうぐれのこわ～いおはなし会】</b> 内容…こわい話を中心としたおはなし会
	<b>【時期】</b> 子どもの読書週間 15:30～15:40(月～金) <b>【対象】</b> 幼児、小学生	<b>【県図書館司書のちっちゃなおはなし会】</b> ・内容…読み聞かせ
	<b>【時期】</b> 秋の読書週間 <b>【対象】</b> 幼児、小学生	<b>【秋のおはなし会】</b>
	<b>【時期】</b> 年4回 10:30～11:30 <b>【対象】</b> 成人	<b>【大人のためのおはなし会】</b> ・内容…ストーリーテリング

## 令和3年度事業計画

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
読み聞かせひろば	<b>【時期】</b> 毎週日曜日 11:00～12:00 <b>【対象】</b> 乳幼児、幼児	子ども室マツコーナーでボランティアによる読み聞かせを行う。 内容・・・読み聞かせ
専門書を中心とした電子書籍サービスの提供	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> 一般県民(高校生を含む)	来館できない県民の利便性の向上や課題解決
矯正施設等の子どもへの読書活動支援	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> ・大分少年鑑別所 ・大分少年院 ・中津少年学院 等 ※ 子どもの読書活動の推進に関する法律の趣旨	矯正施設等の機関と連携、協議し、施設にいる子どもの読書による自己への気付き、成長を目的に、読書環境や書籍等の充実・整備、読書活動推進のため可能な分野から支援を行う。 <b>【支援内容例】</b> 図書貸出、図書譲渡、読み聞かせ、ブックトーク、図書室運営相談等
県立病院入院児童生徒読書支援	<b>【対象】</b> 県立病院小児科病棟 県立病院新生児集中治療管理室(家族控え室)	県立図書館推薦の優良図書を県立病院に定期的に貸出し、入院中の児童・生徒の読書活動を支援する。
読書週間行事	<b>【時期】</b> 春と秋の2回	全国的に実施される読書週間に呼応して多様な行事を開催する。
	<b>【春 こどもの読書週間】</b> (4月23日～5月12日)	そよかぜげんき広場を4月23日～5月12日に開催し多数のイベントを行う。
	<b>【秋 読書週間】</b> (10月27日～11月9日)	「読書週間」関連のイベントを行う。
映画上映会	<b>【時期】</b> 祝日・夏休み・読書週間中の日曜日	「アニメ映画上映会」 幼児及び小学生を対象に、ストーリー及び映像などが良質のアニメ映画を上映する。
	<b>【時期】</b> 秋の読書週間中	「その他の映画上映会」 秋の読書週間に映画やドキュメンタリー等の映像資料を上映する。
	<b>【時期】</b> 平日の開館日 月1回程度	大人向けの映画を、平日の開館日に上映する。
宅配貸出サービス	<b>【時期】</b> 通年	障がい者や高齢者、子育て中の方等、多様な利用者への読書活動支援として宅配貸出サービスを行う。

## 令和3年度事業計画

### (2) 資料収集・保存・提供の推進

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
県立図書館資料整備事業	<b>【時期】</b> 通年  <b>【対象】</b> ・図書館利用者	県民の文化・教養の向上及び課題解決支援等のために、一般資料、郷土資料、調査相談資料、子ども室資料、逐次刊行物等の資料収集を行い、閲覧・貸出に供する。  ・冊数…10冊まで ・期間…15日間

### (3) 市町村立図書館、学校図書館等支援

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
大分県公共図書館等連絡協議会	<b>【時期】</b> ・総会(年1回) ・理事会(必要に応じて) ・実務担当者会議(年1回) ・図書館利用促進企画検討委員会(年1回)	県内公立図書館及び公民館図書室相互の連絡を密にして、図書館に関する研修、情報交換等を行う。
第8回大分県図書館大会	<b>【時期】</b> 8月2日(月) 13:00～16:00  <b>【対象】</b> ・市町村立図書館(室) ・学校図書館 ・県立図書館	県内の公共図書館と学校図書館相互の連携書活動の推進を図るとともに、地域・学校強化と職員のスキルアップにより、図書館サービスの向上と読書に貢献する図書館づくりに取り組むことを目的とする。  <b>【テーマ】</b> (予定) 「今、図書館に求められていることとは」 <b>【内容】</b> 午前: 記念講演(オンライン配信も検討) 午後: 実践交流会、分科会 (事例発表は2本: 公共図、学校図)
公立図書館等職員研修会	<b>【時期】</b> 年6回  <b>【対象】</b> 市町村立図書館、 市町村公民館職員 県立学校職員	県内の公立図書館・公民館図書室におけるサービスの向上を図るため、研修会を行う。うち一部は一般県民も対象とする。
公立図書館等館長研修	<b>【時期】</b> 年1回  <b>【対象】</b> 市町村立図書館長、 市町村公民館長等	公立図書館長及び公立図書館等において管理的立場にある職員等に対して、業務遂行に役立つ研修を行う。

## 令和3年度事業計画

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
協力貸出 大分県図書館情報ネットワーク(OLIB)を活用	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> ・市町村立図書館 ・公立及び私立の小・中学校、高等学校、短大・大学 ・その他(矯正施設等)	県内どこからでも県立図書館の資料を利用できるように、市町村立図書館・図書室を通じ、宅配による資料の貸出を行い、市町村の図書館活動を支援する。 また、県内各学校等が必要とする資料の援助を行い各学校等との連携を図る。 ・冊数…利用者の希望する冊数 ・期間…1ヵ月以内
団体貸出文庫	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> ・市町村立図書館 ・市町村公民館 ・読書団体 ・学校	資料の貸出及び読書活動に関する助言等を行うことにより、県民の主体的な読書活動を支援し、地域読書活動の活性化を図る。 ・冊数…1,000冊まで ・期間…3ヵ月以内
大分県図書館横断検索システム(総合目録)	・市町村立図書館 ・玖珠町わらべの館	市町村立図書館の資料を検索できるシステムを構築することにより、相互貸借を推進し、資料の有効活用を図る。 ・参加館18館(県立図書館を含む)
司書等派遣・巡回相談業務	・市町村立図書館 ・市町村公民館	司書等の派遣(来館型実習を含む)及び巡回相談を行い、図書館や図書室の利用促進及び相互協力体制を確立する。 (各市町村立図書館等からの申請に基づき実施)
不登校児童・生徒への支援 (市町村活動支援を含む)	<b>【時期】</b> 年間5回程度 <b>【対象】</b> 県教育センター「ポランの広場」の児童・生徒	県立図書館がもつ機能・環境の特性を活用し、不登校の児童生徒への居場所づくり、自信回復等につながる読み聞かせ活動や職場体験等のプログラム実施を支援する。 実施内容: 図書館利用案内、図書館見学、読み聞かせ、個別読書、調べ学習、職場体験等
	(市町村活動支援) <b>【時期】</b> 年間 <b>【対象】</b> 市町村の教育支援センターの児童・生徒	市町村の求めに応じ、教育支援センターが市町村立図書館等を活用して実施する、図書館の機能・環境の特性を活かした不登校児童・生徒の様々な活動を支援する。
	(フリースクール支援) <b>【時期】</b> 年間 <b>【対象】</b> フリースクールの児童・生徒	県立図書館がもつ機能・環境の特性を活用し、不登校の児童生徒への居場所づくり、自信回復等につながる活動の実施を支援する。



## 令和3年度事業計画

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
職場体験学習、インターンシップ、図書館見学の受入	<b>【職場体験学習】</b> 中学生、高校生 <b>【インターンシップ】</b> 大学生等 <b>【図書館見学】</b> ・幼稚園、小学校の社会見学、保護者や教員等の研修、建築関係や司書課程の学生、建築士等	図書館機能等を紹介し、図書館サービスの広報・普及を図るとともに、学校が行う体験学習を支援する。
施設連携による小中学校支援プログラム	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県内小中学校	先哲史料館・埋蔵文化財センター・県立美術館と連携した支援プログラム。県立図書館では、調べ学習支援や見学により、学校が行う体験学習を支援する。
スクールサービスデイ	<b>【時期】</b> 通年(月曜休館日) <b>【対象】</b> 県内小中学校・高等学校の児童・生徒	月曜休館日を活用して県立図書館が所蔵する多様な図書等の資料を使い、設定したテーマに基づいた調べ学習を体験させることにより、課題解決の有効な方法の一つであることを理解させ、情報活用能力の向上を図る。 ・受入可能日(最大8回) 6/7, 6/21, 7/19, 9/6, 10/18, 11/15, 12/20, 1/17 ・場所…県立図書館(視聴覚ホール、研修室、一般資料室等) ・内容…図書館ガイダンス、調べ学習等

### (4) 県民の調査研究・課題解決支援

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
行政・民間団体との連携事業	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> 一般県民	行政・民間団体と連携し、各種セミナーや相談会、企画展示等を行うことで、県民の課題解決支援と多様な学習機会の提供を行う。 ・「経営無料相談会」 連携先: 大分県中小企業診断士協会 ・「無料相談会」 連携先: 大分公証人合同役場 ・「1日まちの保健室」 連携先: 大分県看護協会 大分県がん診療連携協議会 ・「臓器移植」 連携先: 臓器移植医療協会 ・「創造おおいた」毎月 発行: 大分県産業創造機構 ・「豊の国雇用おおいた」年2回 発行: 大分県総合雇用推進協会 等

## 令和3年度事業計画

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
相互貸借	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> ・図書館利用者	県内・県外の図書館が所蔵している資料を、図書館利用者の申し出により、県立図書館が取り寄せし、提供することで課題解決の支援を行う。  ・冊数…5冊 ・期間…2週間程度 （取り寄せ先の図書館の規程による）
中小企業支援コーナーの充実	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> 中小企業関係	県産業科学技術センターと連携して設置した、中小企業関係者にとって役立つ推薦図書や研究成果等を展示するコーナーをより充実させる。
県民の課題解決を支援 （主催公開講座）	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> 一般県民  ・ <b>【大人のための教養講座】</b> （6月～2月）3回  ・ <b>【古典の日推進講座】</b> （7月～11月）3回  ・ <b>【調べ学習講座】</b> （7月下旬）1回  ・ <b>【ストーリーテリング入門講座】</b> （9月～11月）連続4回  ・ <b>【映像資料視聴講座】</b> （年間）	生涯学習のキーステーションとして豊かな学習機会を提供し、県民の教養・文化の向上及び県立図書館の利用促進を図る。  ・各回で様々なテーマを設定し、県民へ文化的な生活を楽しむ機会を提供する講座。  ・古典についての関心と理解を深め、広く古典に親しむ心を育む講座。  ・調べ学習のテーマの設定と、調べる方法や内容について学ぶ講座。  ・読み聞かせ活動の1つとしてストーリーテリングの理論と技法について学ぶ講座。  ・地域にゆかりのある人物や時事的なテーマの番組を視聴する講座。
県民の課題解決を支援 （よろず支援拠点セミナー、暮らしに役立つ連携講座等）	<b>【時期】</b> 通年 <b>【対象】</b> 一般県民  <ビジネス支援> 第1・第3土曜日  <医療・健康関係> 9/18  <法律関係> 9/11、2/5  <家庭教育支援> 2月	行政、民間団体、放送大学等と連携し、各種セミナーや相談会、講演会、講座、企画展示等を行うことで、県民の課題解決支援と多様な学習機会の提供を行う。  ◆ 大分県よろず支援拠点土曜日出張セミナー・個別相談会 連携先：大分県よろず支援拠点  ◆ 緩和ケア講演会 連携先：大分大学医学部附属病院がん相談支援センター、緩和ケアセンター  ◆ 法律セミナー 連携先：法テラス大分  ◆ 大分県子育て講演会 連携先：大分県福祉保健部障害福祉課、大分大学医学部小児科学講座、（社福）別府発達医療センター

## 令和3年度事業計画

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
	<p style="color: red;">＜趣味・教養関係＞</p> <p style="color: red;">① 夏頃</p> <p style="color: red;">② 未定</p> <p style="color: red;">③ 4/24、9/4</p>	<p style="color: red;">◆ 発明科学セミナー 連携先: 大分県産業科学技術センター、(一社)大分県発明協会</p> <p style="color: red;">◆ 科学講演会 連携先: NPO法人大分県に科学を広める会</p> <p style="color: red;">◆ 放送大学公開講座 連携先: 放送大学大分学習センター</p>
データベースの提供	<p>【時期】通年</p> <p>【対象】一般県民</p>	<p>商用データベース(各種新聞記事検索、官報、判例検索等)、国立国会図書館デジタル化資料、当館作成の新聞画像データベース等を提供することで、県民の調査研究・課題解決支援を行う。</p>
調査相談	<p>【時期】通年</p> <p>【対象】 一般県民 県内図書館等 図書館以外の行政機関</p>	<p>専門職員による調査相談を口頭・電話・FAX・郵便・メール等で受付し、資料や情報の提供を行うことで、調査研究・課題解決を支援する(ビジネス支援、行政支援、県内図書館等からの協力レファレンス等)。</p>

### (5)市町村社会教育行政等への支援

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
社会教育推進力 <b>向上</b> 支援事業	<p>【時期】年間</p> <p>【対象】 社会教育関係行政職員、 社会教育関係団体 等</p>	<p>① 社会教育関係者を対象とした研修 市町村職員等の資質向上や指導者の育成をめざし研修を行う。 ・新任社会教育行政職員・新任社会教育主事研修会 ・社会教育行政職員研修会(2回) ・社会教育主事専門研修会 ・社会教育関係職員等合同研修会 ・県・市町村社会教育委員研修会 ・<b>公民館関係職員研修会(3回)</b></p> <p>② 大分県社会教育応援隊(社会教育主事派遣) 市町村の社会教育関連事業に対し、依頼に応じて積極的に関わり支援するとともに、市町村の現状を把握し、地域における社会教育活動の充実及び活性化を図る。</p> <p>③ 社会教育巡回訪問・巡回相談 市町村の社会教育施設等を訪問し、各市町村の生涯学習・社会教育の現状やニーズを把握し研修や調査研究に活用する。</p>
大分県生涯学習情報提供システム整備事業	<p>【時期】年間</p>	<p>県民の学習ニーズに応えるとともに、社会教育行政職員の支援のため、インターネットを利用した学習情報提供を行うシステムの整備充実を図る。</p>

## 令和3年度事業計画

事業名	実施時期・対象等	事業内容等
学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業	<p>【時期】年間</p> <p>【対象】地域学校協働活動推進員、「協育」ネットワーク関係者、県内社会教育関係行政職員等</p>	<p>①「地域学校協働活動」関係者研修 コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動のあり方について研修を行う。 (3地区各2回)</p> <p>② 企業・高校等を活用した小学生チャレンジ教室開発事業 企業や高校生等の外部人材を活用し、地域の特色をいかした教育プログラムを開発し、小学生を対象とした体験活動講座を市町村関係者に公開する研修を行う。 (全5回)</p>
外国人とのコミュニケーション拡大事業	<p>【時期】年間</p> <p>【対象】地域住民、社会教育関係団体、企業、社会教育関係職員等</p>	<p>多文化共生社会を実現するため、外国人に対して「迅速に、正確に、簡潔に」情報を伝える「やさしい日本語」に関する学習会や講座を行う。 (モデル地区：中津市・別府市)</p> <p>①「やさしい日本語」の普及 ・講演会の開催(県内2カ所) ・クリアファイル及びリーフレットの作成と配布</p> <p>②「やさしい日本語」学習機会の提供 ・拡大学習会の開催(地域住民対象) 指導者育成セミナー：スキル向上 地域拡大企画会議：周知拡散方法の企画 地域住民向け学習会：体験者の拡大 ・行政職員向け講座の開催</p> <p>③ 学習成果の活用と実践活動例の提示 ・コミュニケーションワークショップの開催 ・「やさしい日本語」生活編動画の作成・公開</p>
生涯学習・社会教育に関する調査・研究	<p>【時期】年間</p>	<p>今後の社会教育行政における施策の効果的な実施に資するための情報収集及び調査研究を行う。</p>

# コロナ禍での運営 新たな日常への模索

大分県立図書館

休館

3月 2日～4月 7日 (37日間)  
4月 17日～5月 10日 (24日間)

再開

## 感染防止対策を講じながらの運営

利用制限：閉館時間 19時 (平日 通常20時)  
人数制限：閲覧席、学習室、研修室、視聴覚ホール (イスの減)  
利用者把握：連絡先等の記入依頼  
消毒の実施：換気の実施、日に4回の定期消毒

## 再開後の 利用状況

入館者数：対前年同月比 55.3% (4-2月 248,476人/ 449,602人)  
貸出冊数(個人)： // 81.5% (4-2月 430,439冊/ 527,971冊)  
貸出冊数(協力)： // 78.7% (4-2月 56,825冊/ 72,166冊)  
調査相談件数： // 68.8% (4-2月 12,446件/ 18,085件)  
HPアクセス件数： // 100.6% (4-2月 280,718件/ 278,959件)  
※休館中の宅配サービス申込 170件 1,022冊

コロナ禍での運営  
新たな日常

◎今後に向けて



## 新たな利用者の開拓 (≒ 新たなサービスの提供)

## 新たなアプローチ → 非来館型サービス

### ◇利用の分析

- ・利用者登録：2,218人 対前年同月比 73.0%  
年齢別 19-22が1.3倍、10-15、70超が半分以下
- ・貸出状況：文学 28.6% 社会科学 14.4% 工業 13.4%  
60代 22.2%、70超 21.7% 10代 3%程度

### 【PRやパブリシティ強化】

### ◆外部との協力、連携

- ・学校や地域 (幼保施設や子育てグループ) との連携
- ・外部 (企業CSR活動) との協力

### ◆各ターゲット向けのアプローチが必要

- ・HP、スマホコンテンツ、広報誌の見直し
- ・個別イベント等の積極的パブリシティ

### □非来館型サービス

- ・電子申請 (利用者登録、複写申込など)
- ・電子書籍の導入 (県立学校の1人1台端末の整備)
- ・宅配サービス (障がい者) の利用拡大
- ・ホームページの充実 (スマホ対応：FB, TWの活用)
- ・オンラインイベント、研修の実施
- ・自宅学習コンテンツの充実
- ・郷土資料を中心とした資料のデジタル化  
(資料のWEB提供)

## 津久見市出身 医師（故）三浦 通（みうら とおる）様からのご寄贈について

三浦様のご意志を賜り、当館の視聴覚設備の整備及び小学校の学習に役立つ図書等の購入を行いました。視聴覚ホールの利用者には大変喜んでいただいております。図書は子どもたちの学習にどんどん利用いただきたいと思いますと考えています。ご寄附に対し、改めて深く感謝申し上げます。

### ▼視聴覚ホールの設備を更新しました

スクリーンを大型に、音響も改善しました。



### ▼学習支援文庫を整備しました（地下1階 団体書庫内）

文庫の規模：約1,200冊（うち外国語のもの約320冊）

主に小学校での学びを支援する図書等を購入しました。教科書に出てくる本や、新しく導入された英語教育をサポートする英語絵本など、学校での学びを深めて読書活動を広げるための資料を整備し、学校や団体等へ貸出しすることで、大分も未来を担う子どもたちの育成を支援します。

学習支援文庫の図書の貸出を希望する学校や団体は協力貸出（OLIB）や団体貸出から手続きをお願いします。

※ 個人への貸出しは行っていません。ご了承ください。

※ 協力貸出、団体貸出については学校・地域支援課へお問合せください。

文庫の様子

只今、貸出のために、ブックカバーをするなどの「装備」中です。

もう少しお待ちください。